

# 地域医療構想と 地域包括ケアの 一体的な推進に係る取組

平成29年6月7日  
岩手県中部保健所

地域医療構想  
(医療計画の一部、県が推進)

医療と介護の連携

在宅介護サービス等

(高度)急性期

回復期

慢性期

うち医療区分1の患者(70%)は  
在宅医療等へ移行

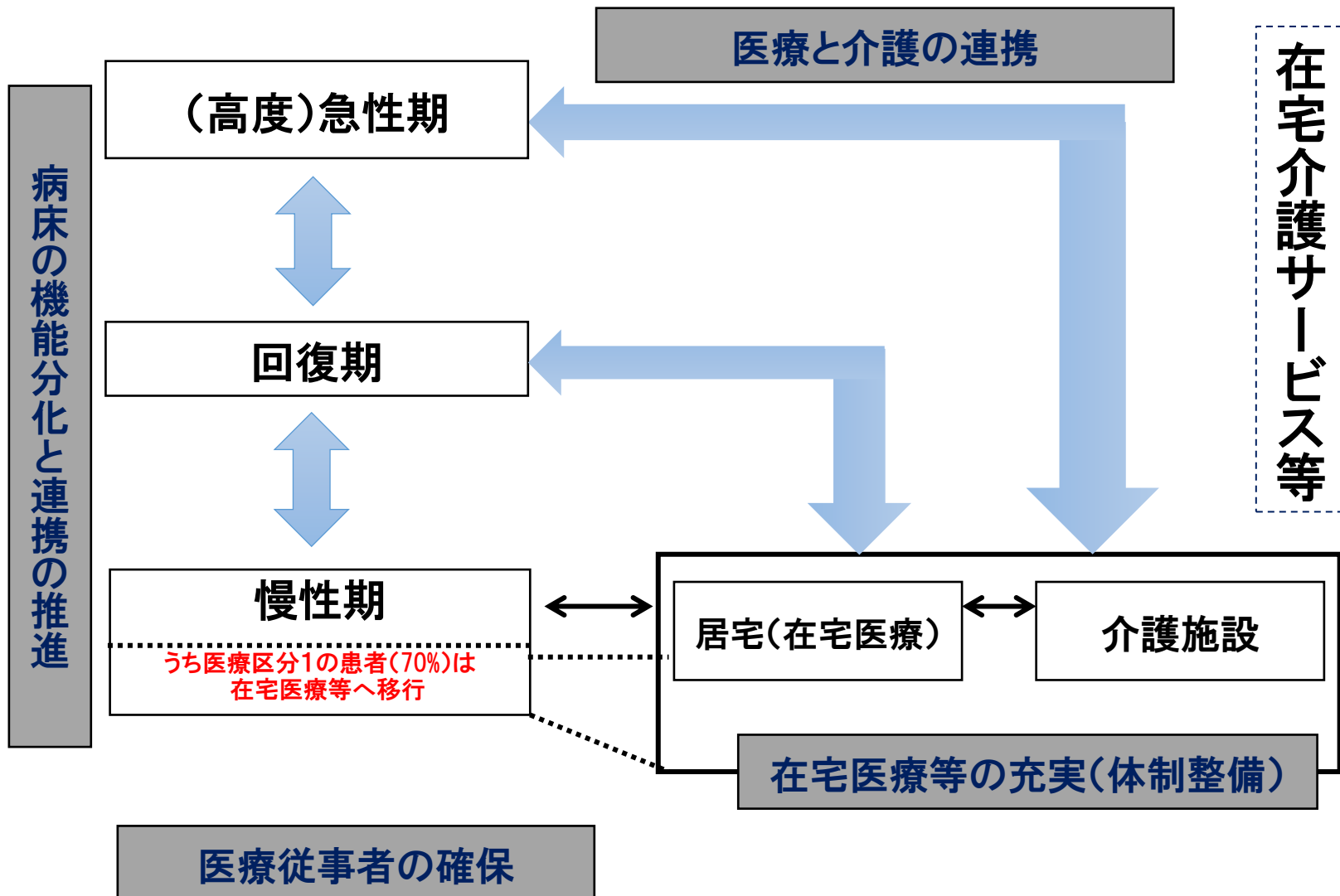
居宅(在宅医療)

介護施設

在宅医療等の充実(体制整備)

医療従事者の確保

病床の機能分化と連携の推進



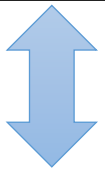
地域包括ケアシステム  
(市町村が推進)

医療

(高度)急性期



回復期



慢性期

認知症施策

医療と介護の連携

介護予防

生活支援

在宅介護サービス

居宅(在宅医療)

介護施設

コーディネート

地域包括  
支援センター  
の  
機能強化  
・  
地域ケア会議  
の充実

# 地域医療構想と地域包括ケアシステムの一体的な取り組み

地域医療構想  
(県が推進)

地域包括ケアシステム  
(市町村が推進)

認知症施策

医療と介護の連携

(高度)急性期

(在宅)医療と介護の連携

地域包括支援  
センターの  
機能強化

・  
地域ケア会議  
の充実

介護予防

生活支援

在宅介護サービス

回復期

病床機能の分化と連携

慢性期

居宅(在宅医療)

介護施設

在宅医療等の体制整備

地域での慢性期の受け皿

# 地域医療構想の実現と地域包括ケアシステム構築に向けた一体的な推進に関する基本方針

平成28年9月  
県南広域振興局保健福祉環境部  
岩手県中部保健所  
岩手県奥州保健所  
岩手県一関保健所

## 【 基本方針 】

将来を見据えて、地域における適切な医療及び介護の総合的な確保をするためには、地域医療構想の実現に係る効率的かつ質の高い医療提供体制の構築及び地域包括ケアシステムの構築を一体的に推進する必要があります。

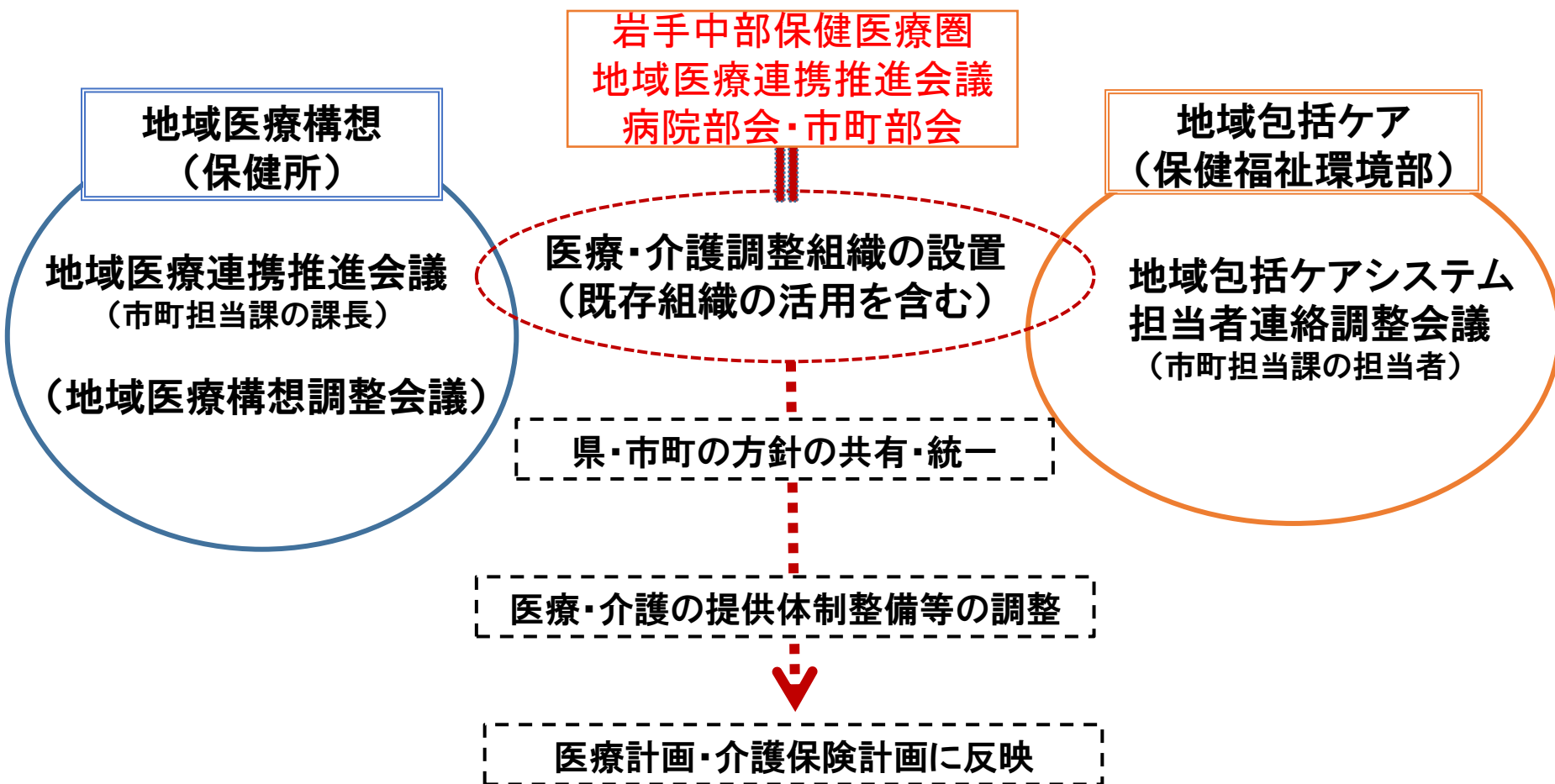
特に、病床機能の分化及び医療機関の連携の推進等による医療提供体制の構築並びに在宅医療・介護の充実等による地域包括ケアシステムの構築に共通する基盤となる慢性期の医療・介護の体制整備が重要であります。

については、県（県南広域振興局保健福祉環境部、中部保健所、奥州保健所、一関保健所）と管内市町のより緊密な連携等を図り、これらの体制整備を重点として取り組むものとします。

## 【 今後の方向性 】

この基本方針を実現するためには、市町、関係機関との情報の共有等が必要であります。このため、県南地域の保健医療圏域毎に県（県南広域振興局保健福祉環境部、中部保健所、奥州保健所、一関保健所）と管内市町による医療・介護連携調整会議（仮称・既存組織等の活用も可）を設置します。

# 地域医療構想と地域包括ケアを 一体的に推進するために



# 地域医療構想と地域包括ケアの 一体的な推進に係る取組(H29)

## ○ 次期医療計画の見直し(H30～6年間)

- **5疾病**(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患)、  
**5事業**(救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、  
小児(救急)医療)  
及び在宅医療に係る目標、医療提供体制等
- 地域医療構想を実現するための施策
- 医療従事者の確保、医療安全対策 等

※ 圏域における課題の抽出、課題にむけた取組の方向性について、岩手中部保健医療圏医療連携推進会議で協議(3回程度)

# 地域医療構想と地域包括ケアの 一体的な推進に係る取組(H29)

○ 岩手中部保健医療圏医療連携推進会議病院部会・市町部会の開催

(第1回:6月7日 以降必要に応じて開催)

